

# 創刊 75 周年記念 SCREEN を飾ったハリウッド・スターたち

Hollywood Stars in SCREEN Magazine: Commemorating its 75th Anniversary

2021年4月13日〔火〕－8月1日〔日〕

国立映画アーカイブ 展示室（7階）

主催：国立映画アーカイブ、近代映画社

## 「SCREEN」を飾った 歴代のハリウッド・スターたちの まばゆい輝き！

ジョン・ウェイン、エリザベス・テーラー、ジェームズ・スチュアート、オードリー・ヘプバーン、スティーヴ・マックイーン、クリント・イーストウッド、ジョディー・フォスター、マイケル・J・フォックス、ジョニー・デップ、レオナルド・ディカプリオ…。日本の映画ファンの歩みは数限りないアメリカ映画のスターたちを抜きにして語ることはできません。

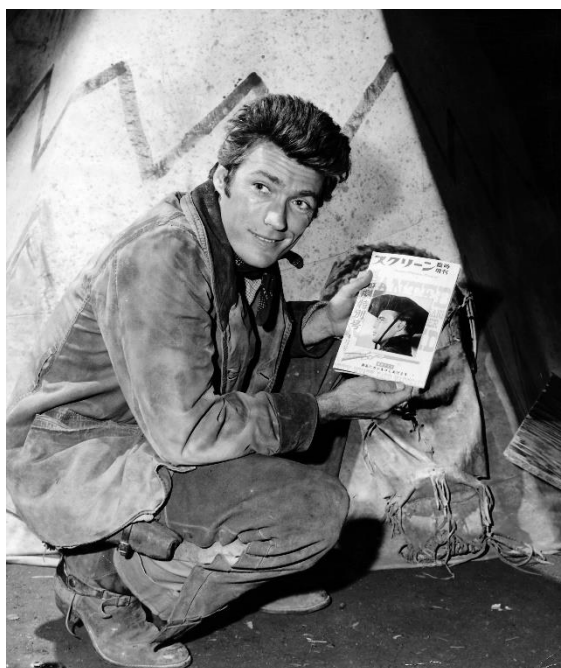
外国映画、とりわけハリウッドのスター俳優に取材し、常に最新情報を日本に送り届けてくれる近代映画社の月刊誌「SCREEN」は、季刊の「ポートレート集」としてタイロン・パワーと原節子の両面表紙で1946年5月に創刊、翌年2月発行の第3号からは月刊の「アメリカ映画紹介鑑賞誌」として新たなスタートを切りました。間もなくヨーロッパ映画を含めた洋画ファン雑誌のスタイルを確立して、現在まで長く映画ファンに愛され、この2021年5月に創刊75周年を迎えます。

本国から供給される情報や写真に頼った画一的な記事をよしとせず、ハリウッドに自社の通信員を置いてスターたちの生の声を伝え続けている「SCREEN」は、日本の外国映画ジャーナリズムにおいても独自の地位を占めてきました。この展覧会では、1990年代までを対象に、ハリウッドで独自に収めた華やかな

スターフォトや、スターの来日時に撮影された貴重な写真を通じて、日本の映画ファンが注いできた情熱の系譜をたどります。

また歴代の号の誌面を紹介するとともに、半世紀近くにならって同誌に貢献したハリウッド通信員ヤニ・ベガキス Yani Begakis 氏の功績もフィーチャーします。

スターたちが日本の映画ファンに見せくれた魅力的な表情の数々をお楽しみください。



クリント・イーストウッド（1961年頃）  
©Kindaieigasha



「SCREEN」1946年5月創刊号／「SCREEN」1947年2月号（月刊化第1号）

## 展覧会の構成

### 「SCREEN」のカメラがとらえたスターたち

1950年のポップ・ホープ以来、1990年代までに日本を訪れたハリウッド・スターたちの取材写真を展示。

「SCREEN」が他誌に先駆けて始めたハリウッド現地取材ならではの写真の数々を、名物記者ヤニ・ベガキスの仕事を中心に紹介。

### ハリウッド・スターからのおくりもの

来日インタビュー時に書かれたオードリー・ヘプバーンのサインや、「SCREEN」とその読者にあてられたケーリー・グラントのサイン入りポートレートなど、「SCREEN」の財産である貴重な資料を展示。

### 「SCREEN」75年の歴史から

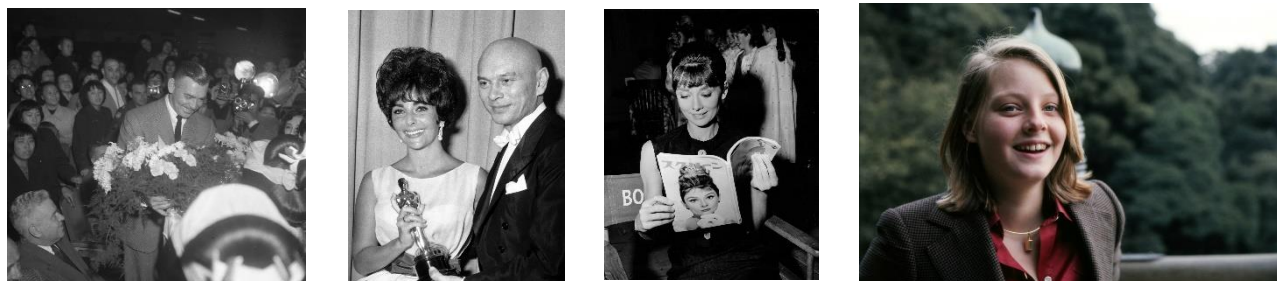
1946年5月発行の「SCREEN」創刊号をはじめとする各時代の誌面を紹介。

思い出の表紙の数々とジョン・ウェインからナタリー・ポートマンまで歴代のスターたちをパネル展示。

「SCREEN」読者投票が選ぶ年間ベスト作品と人気男女優の歴史をパネルで紹介。



(左から) マリリン・モンロー来日記事(「スクリーン」1954年4月号) 近代映画社所蔵/第29回ヴェネチア国際映画祭「国際映画図書館」サンマルコ獅子賞楯 近代映画社所蔵/チャールトン・ヘストンのサイン 近代映画社所蔵/ジェームズ・スチュアートのサイン入りポートレート 近代映画社所蔵



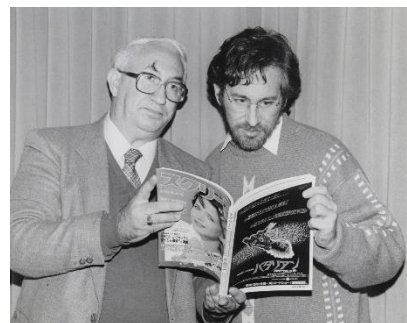
(左から) 浅草国際劇場を訪れたクラーク・ゲーブル(1954年) ©Kindaiegasha/エリザベス・テラーとユール・プリンナー(1961年) ©Kindaiegasha/『噂の二人』撮影中のオードリー・ヘプバーン(1961年) ©Kindaiegasha/初来日時のジョディ・フォスター(1977年) ©Kindaiegasha

## 見どころ

★本展では、洋画ファン雑誌「SCREEN」の誌面を飾ってきたハリウッド・スターの写真から、**1950年代から90年代まで**を中心に構成しています。なかでも、「ハリウッド・キング」と称された**クラーク・ゲーブルの来日**など、1950年代から60年代にかけて日本を訪れた伝説的なスターたちの貴重な取材写真の数々は見どころです。


★「SCREEN」の財産といえる、**オードリー・ヘプバーンやジョニー・デップのサイン色紙、ジェームズ・スチュアートやギネス・パルトローのサイン入りポートレート**などを併せて多数展示します。

★「SCREEN」では60年以上前から、独自のハリウッド通信員が現地取材を行ってきました。**スターへのインタビューやアカデミー賞授賞式取材など、名物通信員ヤニ・ベガキスの取材写真を中心に**、他誌に先駆けて手掛けたハリウッド現地取材の歴史を紹介しています。



スティーブン・スピルバーグとハリウッド通信員ヤニ・ベガキス(1986年頃) ©Kindaiegasha

開催概要

	<p><b>創刊 75 周年記念                  SCREEN を飾ったハリウッド・スターたち</b>                  (Hollywood Stars in SCREEN Magazine: Commemorating its 75th Anniversary)</p>	 <p>展覧会チラシ</p>
主催	国立映画アーカイブ、近代映画社	
会期	<b>2021年4月13日 [火] - 8月1日 [日]</b> ※臨時休館の影響により、会期を延長いたしました。(2021/6/11 更新)	
休室日	5月25日(火) - 28日(金)、7月6日(火) - 7日(水) および月曜日は休室です。	
開室時間	午前11時 - 午後6時30分(入室は午後6時まで) *夜間開館は当面の間休止いたします。	
会場	国立映画アーカイブ 展示室(7階)	
アクセス	東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分 都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分 東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分 JR 東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分	
料金	<p><b>一般 250 円 (200 円) / 大学生 130 円 (60 円) / 65 歳以上、高校生以下及び 18 歳未満、障害者(付添者は原則 1 名まで)、国立映画アーカイブのキャンパスメンバーズは無料</b></p> <p>* 料金は常設の「日本映画の歴史」の入場料を含みます。* ( ) 内は 20 名以上の団体料金です。                  * 学生、65 歳以上、障害者、キャンパスメンバーズの方は入室の際、証明できるものをご提示ください。                  * 国立映画アーカイブが主催する上映会の観覧券(半券可)をご提示いただくと、1 回に限り団体料金が適用されます。                  * 2021 年 5 月 18 日(火)「国際博物館の日(毎年 5 月 18 日)」は、無料でご覧いただけます。                  * 雑誌「SCREEN」をご提示いただくと、1 冊につき 1 名様に限り団体料金が適用されます。</p>	
	<p><b>新型コロナウイルス感染症拡大防止策につきましては、当館 HP をご確認ください。</b>  <a href="https://www.nfaj.go.jp/ge/topics/20200625/">https://www.nfaj.go.jp/ge/topics/20200625/</a></p>	
お問合せ	050-5541-8600 (ハローダイヤル)	
HP	<a href="https://www.nfaj.go.jp/exhibition/screen75/">https://www.nfaj.go.jp/exhibition/screen75/</a>	

【本展覧会に関するお問合せ】

国立映画アーカイブ 事業広報担当：横田 / 展示・資料室：岡田・濱田

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6 MAIL : pr@nfaj.go.jp TEL : 03-3561-0823 FAX : 03-3561-0830



## 広報用画像 & 読者プレゼント招待券申込書

### 創刊 75 周年記念 SCREEN を飾ったハリウッド・スターたち

送付先 国立映画アーカイブ 広報担当行 メール：pr@nfaj.go.jp FAX：03-3561-0830

\* 広報用画像をご希望の方は、本プレスリリースに掲載されている画像右下の番号をご参照の上、貸出を希望されるデータの口にチェックをつけ、上記の宛先までをご送付ください。

①	クリント・イーストウッド (1961 年頃) ©Kindaiegasha
②	「SCREEN」1946 年 5 月創刊号 国立映画アーカイブ所蔵
③	「SCREEN」1947 年 2 月号 (月刊化第 1 号) 国立映画アーカイブ所蔵
④	マリリン・モンロー来日記事 (「スクリーン」1954 年 4 月号) 近代映画社所蔵
⑤	第 29 回ヴェネチア国際映画祭「国際映画図書館」サンマルコ獅子賞楯 近代映画社所蔵
⑥	チャールトン・ヘストンのサイン 近代映画社所蔵
⑦	ジェームズ・スチュアートのサイン入りポートレート 近代映画社所蔵
⑧	浅草国際劇場を訪れたクラーク・ゲーブル (1954 年) ©Kindaiegasha
⑨	エリザベス・テーラーとユール・プリンナー (1961 年) ©Kindaiegasha
⑩	『噂の二人』撮影中のオードリー・ヘプバーン (1961 年) ©Kindaiegasha
⑪	初来日時のジョディー・フォスター (1977 年) ©Kindaiegasha
⑫	スティーブン・スピルバーグとハリウッド通信員ヤニ・ベガキス (1986 年頃) ©Kindaiegasha
⑬	展覧会チラシ

画像データ貸出希望日時	月	日	時頃までに希望
読者プレゼント招待券	組	名 (合計	枚) 希望します

#### プレス・イメージ貸出条件

1. 画像は、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。2. データを第三者に渡すことは禁じます。使用后、画像データは消去してください。展覧会の名称、期間、会場は、適切な場所、大きさを明示していただくようお願いいたします。4. 作品画像は全図で使用してください。部分使用やトリミング、作品に文字を重ねることはできません。5. **画像を掲載される際には、イメージ貸出時に添付するクレジットをご記載ください。** 6. 掲載紙 (誌) は、1 部、広報担当宛にご寄贈ください。web サイトの場合は、掲載時にお知らせください。

\* 画像データ (JPEG) にてお貸出いたします。その際、一緒にお送りするキャプションもご確認ください。

**\* 掲載前に、校正紙をお送りください。お送りいただけない場合、掲載内容についての責任は当方では負いかねます。**

お名前： \_\_\_\_\_ ご所属・媒体名： \_\_\_\_\_

出版物・放送番組名： \_\_\_\_\_

TEL： \_\_\_\_\_ FAX： \_\_\_\_\_

メールアドレス： \_\_\_\_\_